



特集

十勝で体と心の成長を育む体操教室を運営し 開かれた大学、地域の健康づくりにも取り組む —— 一般社団法人 ちくだい KIP

Book Stories 本づくりのさきにあること——。

『小樽市立病院ガイドブック 80人のドクターが語る身近な病気と対策』

【編集者】有村 佳昭さん

ほっかいどうの本 ——『きりんのうた』—— 北海道新聞社

『札幌クラシック建築追想 都市と建築 老眼遊記』—— 亜璃西社

『ファシリテーションの手引き書』—— 共同文化社



「畜大教室」の風景

特集

十勝で体と心の成長を育む 体操教室を運営し 開かれた大学、地域の 健康づくりにも取り組む ——一般社団法人 ちくだい^{キ ッ プ}KIP

帯広市に、会員数500人を誇る人気の体操教室「ちくだいKIP」があります。

その活動拠点は、国内唯一の国立農学系単科大学である帯広畜産大学(以下、畜大)です。

10年前、畜大の教員と卒業生の2人が始めた、ちくだいKIPのこれまでの歩みと特色、体操教室を核にしながら目指す今後の取組について、一般社団法人ちくだいKIP代表理事の山田共彦さん、同理事で畜大准教授の村田浩一郎さんに聞きました。

(文・写真／片山健一・良知貢一 取材日2025年3月6日)



中札内村でのフィットジャーニー
(中札内村教育委員会提供)



ちくだいKIP 代表理事の
山田共彦さん



帯広畜産大学の
村田浩一郎准教授

年に一度の発表会で 成長を実感

ちくだいKIPの会員は、1歳から12歳以下の子どもたちを中心に約500人がいて、この中には中学生以上の大人も約30人います。教えられる人数には限りがあり、多い時には100人ほどが入会を待つこともあります。

体操教室は、畜大体育館のほか、帯広市総合体育館（よつ葉アリーナ十勝）、鹿追町総合スポーツセンターで開いています。子ども向けの教室は、年齢や経験に応じて「ファミリー」「ファン」「キンダー」「ジュニア」といったコースが用意され、大人向けには「otona教室」を開いています。

教室を運営するスタッフは山田さん



KIP チャレンジで発表する様子（ちくだいKIP 提供）

をはじめ5人でしたが、4月には新しいスタッフとして、大学を卒業したばかりの体操競技経験者3人を採用しました。「スタッフが増えたので、6月ごろから受け入れを増やして、定員を600人にすることが当面の目標です」と山田さんは話します。

毎年2月には「KIP チャレンジ」という体操の発表会を開きます。会員の子どもたちとその保護者200〜300人が見守る中、一人ずつ2種目を披露します。1つは自分が発表したいものを決め、もう1つは、頑張って練習すればできそうな種目をスタッフが選びます。1カ月前から発表会に向けた練習を始め、できないまま当日を迎える子も半数ぐらいますが、本番では「試合筋」が発揮され、8〜9割の子が成功するそうです。「技ができた瞬間

の喜びを分かち合うことも楽しいですが、普段はおとなしい子や運動が苦手な子が、人前で発表することに挑戦し、成長していく姿を見られることも醍醐味です」と山田さんは言います。

声援や歓声、拍手が響くKIPチャレンジの会場は、発表した我が子の頑張ってきた過程を知る親が感極まって涙ぐむ姿も見られ、その周辺の人たちまでもらい泣きするなど、温かい雰囲気包まれます。村田さんは「KIPチャレンジでは、みんなが本気で応援します。他人に大事にされた実感は、貴重な経験として心に残ります」と大人数の前で発表する意義を説きます。

体育教員と学生の出会いにより 畜大体操部創設

函館ラ・サール高校から早稲田大学に入学し、10年在籍して人間科学の博士号を取得した村田さんは、2009年4月に体育教員として畜大に赴任します。「上腕三頭筋の腱の硬さをひたすら測る研究が続けていましたが、本来は人と会話することが好きで、学生たちと触れ合いたいと思いました」と教員になった動機を説明します。

村田さんは、父がコーチを務める



楽しみながら運動能力を鍛えている



スタッフは安全にも気を配っている



「教室」には子どもたちの笑顔があふれる

函館市内の体操クラブに所属し、小学4年から体操競技を始めます。オリンピックに出場することを夢見て、中体連、インターハイ、全国高校選抜など各世代の北海道代表として全国大会に出場し、2004年アテネ五輪の体操男子団体総合で金メダルを獲得した鹿島丈博さん、富田洋之さん、水鳥寿思さんとは同学年で顔なじみでした。

村田さんは帯広に赴任してすぐに、十勝ジュニア体操クラブで指導を始めます。当時は小学生5人が所属するクラブで、大会に出たことのない子ばかりでした。「オリンピック選手と呼ばば、この子たちのモチベーションはもっと上がるだろう」と、2010年2月に鹿島さんを帯広に招いて体操のイベントを開きます。

青森県出身の山田さんは、2009年度に畜大に入学しました。「動物が好きで、動物園の飼育員になることが夢でした。高校生の時に畜大を見学して、田舎らしさを残しつつ、都市機能が整った帯広にあるこの大学が気に入りました」と畜大を志望校に定め、入学するとすぐに『うしぶ。』という牛の乳搾りをするサークルに所属します。

体育の授業や実習で、村田さんと親しくなった山田さんは、体操イベントを手伝います。初めて体操選手

の演技を間近で見て「こんなことができるのか」と衝撃を受け、村田さんに「バック転を教えてください」と頼みます。そこから畜大には無かった体操部をつくらうという話に発展し、山田さんが2年生になって間もなく、初心者ばかりの部員5人が集まって体操部が発足、村田さんが顧問、山田さんは初代部長になりました。

総合型の地域スポーツクラブ ちくだいKIP始動へ

畜大体操部創設から5年後に誕生する、ちくだいKIPも村田さんと山田さんの2人で立ち上げました。

村田さんは、畜大に赴任する前から、「地域に開かれた大学」にしていく一環として、学内に幅広い世代の人々がさまざまなスポーツに触れる機会を提供する「総合型地域スポーツクラブ」をつくる構想を温めていました。ところが、全国大会に出場する選手を輩出するようになった十勝ジュニア体操クラブの指導などが忙しくなり、「私だけでは総合型地域スポーツクラブは無理かもしれない」と思い始めていました。その頃、4年生になった山田さんに就職活動をしている様子が見られませんでした。村田さんが「どうするつも



逆上がり練習中



学校などではあまり取り組まない「ぶら下がる」動作も積極的に行う



子どもたちを飽きさせない会話が大切だ



り？」と尋ねると、山田さんは「村田先生と一緒に体操を教えたいです」と答えました。

山田さんは、体操部と並行して『うしぶ。』も続け、動物園の実習に行き、学芸員の資格も取得しました。「動物園の飼育員としての仕事も楽しいのですが、もっと人の喜びを直接的に感じられる仕事がいい」と思うようになり、3年生から続けていた十勝ジュニア体操クラブでの選手指導を通し、子どもに接する仕事がしたいという思いが強くなったそうです。

2013年9月に山田さんが卒業してからの1年半は、理想の体操教室づくりに向けた理念や運営方法の検討に費やします。教室名は、まず「ちくだい」と入れることを決め、鉄棒の「け上がり」の意味である「KIP」を組み合わせました。村田さんは「懸垂でぶら下がったところから、股関節や肩関節の反動で体を持ち上げるけ上がりは、小学生には難しい技ですが、け上がりができる瞬間のような達成感を味わってほしいという願いから、それにちなんだ名前を考えましたが、結局そのままの名前にしてしまいました」と話し、さらに、小さな子には「体操クラブ」よりも「キップ」の方が言いやすいことも理由に挙げます。

指導方法で参考にしたクラブなどはなく、独自にカリキュラムを構築しました。体操クラブでは、跳び箱を跳べるようにする、逆上りをするようにするといった目的を達成するためのカリキュラムが組まれるそうです。しかし、ちくだいKIPでは、技ができる・できない以前に、体を動かすことが楽しいと感じること、諦めずに挑戦することを最も大切にしています。山田さんは「できなくても『ここが良くなったよ』と、少しずつの成長を確かめ合いながら、楽しんで続けていくうちに、いつの間にかできるようになることが理想です」と言います。

大学や地域の支援を得ながら拡大

ちくだいKIPの2015年4月開講に向け、会員を30人集めることを目標に、無料体験を開くと、約200人もの参加があり、4月までに90人が入会しました。「楽しむ体操教室」が帯広周辺には無かったことで、需要はあると見込んでいましたが、いきなり90人もの入会があり、2人では手に負えないほどでした（村田さん）。アルバイトとの掛け持ちを覚悟していた山田さんも、ちくだいKIPだけで生活できるめどが



コロナ禍に配信した家KIP 動画のひとつ

立ち、スタートから半年後の10月には体操競技経験のあるスタッフ1人を迎えました。

その後も会員は順調に増え、2019年1月には250人に達した、ちくだいKIPですが、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、2020年3月から3カ月にわたり教室が開けず、収入が激減し、先行きが見通せない時期もありました。それでも休校中の間、体操教室に来られない子どもたちのために、自宅で運動してもらおうと「家KIP」というライブ配信をスタートさせ、スタッフ総出で帯広市内の道路でゴミ拾いを行うなど、情報発

信を続けました。教室を閉めている間もクラウドファンディングで支援してくれる各家庭にも助けられながら、コロナ禍を乗り切りました。

十勝における「畜大ブランド」は絶大で、村田さんのほかに、畜大体育教員の川口亜佑子さんも、ちくだいKIPの理事として運営に参画しており、大学教員がエビデンスに基づき、やる気や忍耐力などの非認知能力を高める指導を行う信頼感は、ちくだいKIPの大きなセールスポイントになっている。口コミだけで会員が集まります。太学からは「ちくだい」を名乗った活動の許可、体育館使用料の減免などの支援、体育会には体操教室の時間帯を避けて体育館を利用するといった協力を得ています。

ソーシャルビジネスにも挑戦

ちくだいKIPでは、体操教室以外の活動として、地方自治体と一緒に社会課題の解決に取り組む事業を新たに進めています。

中札内村では、2020年度からコロナ禍の運動不足対策として村からの委託を受け、毎月1、2回、子どもの体操教室と、大人の健康教室を開いていました。2024年度からは、民間事業者が資金を調達して社会課題を解決する事業を実施し、

その成果に応じて行政が報酬を支払う方式「ソーシャルインパクトボンド」を取り入れた、新たな事業を始めています。

従来型の教室も人気がありました。大人の健康教室に参加するのは健康な人ばかりです。行政が期待する、地域の医療費削減につながるような人たちの参加を促す施策が必要だと、村田さんは気づきます。運動が嫌いな人や運動したくてもできない人といった運動無関心層を呼び込むために必要なことを調査し、ちくだいKIPが運動プログラムを作成し、中札内村で実践した取組が「フィットジャーニー」です。

村民の一部700人にアンケート調査をすると、約半数は運動無関心層でした。さらに運動をしない理由を分析すると、腰や膝が痛いといった「身体的要因」、何をすればいいか分からないなどの「心理的要因」、運動の優先順位が低い「リテラシー的要因」、介護や子育てに忙しいといった「社会的要因」に大別されました。

子育て世代の参加を促すために子どもを預かる「プチKIP教室」を開いたほか、運動後にはお酒を1杯提供する教室など、4コースの運動プログラムを実践し、参加人数などあらかじめ設定した目標数値を全て



運動に無関心だった住民が参加するフィットジャーニー（中札内村教育委員会提供）

達成しました。

村田さんは「こうしたソーシャルビジネスにも可能性を感じていて、体操教室との二本柱でちくだいKIPを運営できれば、元体操選手だけを雇用する組織ではなく、ソーシャルビジネスや福祉事業に詳しい人、財務面に明るい人なども登用でき、より魅力的な組織になるのではと考えています」と語ります。

お問い合わせ先

一般社団法人 ちくだい KIP

☎ 080-19355-7295 (代表)

✉ info@chikudaiqip.com

HPアドレス <https://chikudaiqip.com/>

ほっかいどうの本

このコーナーは北海道の出版社から発行された本を社員が読み紹介しております。お近くの書店にない場合は発行先へお問い合わせください。特記以外は税込価格です。

きりんのうた

大平 まゆみ 作／ひだの かな代 絵
A4変型判 32頁 1760円
北海道新聞社 発行
011・210・5744

978-4-86721-146-8



動物園にきりんの親子がやってくることに
なり、園長はきりんさんのオリジナルソングを作り
ました。ページをめくるたびに歌が出てきて、お
もわず□ずさみ心が弾む絵本です。

でも、きりんさんが動物園に来ることになっ
た理由は、遠い国で戦争がおこり元の動物園で生活
することができなくなったから。現在、この世界
には同じ思いをしている人がいます。自分5歳
の息子にきりんさんの気持ちと平和について伝え
るきっかけになりました。

作者の大平まゆみさんはバイオリニストであ
り、難病ALSの闘病中です。そんな中で物語を
生み出し、作詞・作曲を行いこの絵本を作り上げ
たそうです。病と闘いながらも果敢に挑戦したこ
の作品を通して命の大切さも教えてもらうことが
できました。

巻末のQRコードにアクセスすると、作曲され
たきりんのうたを聞くことができます。絵本を読
み聞かせ中、私が節をつけて歌ったメロディーと
は全く異なり親子で大爆笑。思いがけず楽しい時
間を過ごせました。(総務・共育部 中澤寿恵)

札幌クラシック建築追想

越野 武 著
A5判 240頁 3300円
亜細亜社 発行
011・221・5396

978-4-906740-67-3



本書は、北大名誉教授の越野武さんが長年に
亘って調査・研究された、札幌の明治から昭和時
代にかけての歴史的建造物を紹介する建築エッセ
イです。札幌市時計台、豊平館、清華亭など札幌
を代表する建築物の来歴や設計思想が丁寧に紹介
され、学術的な内容でありながら、著者の人柄が
伝わってくる柔らかい筆致で語られています。

特に印象的だったのは、北海道庁旧本庁舎（赤
れんが庁舎）のエピソードです。皆さんお馴染み
の赤れんが庁舎は、屋根の中央にそびえる八角形
のドームが特徴の建物ですが、そのドームが耐震
性の問題から撤去されていた時代があったよう
です。これを復元させるため、骨組みからの見直
しや、屋根に使用する素材を探しに宮城県まで足
を運んだことなど、多くのドラマが語られていま
した。

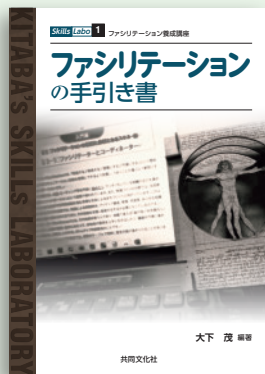
私たちが目にする建築物には、それぞれの時代
を生き抜いてきた物語があります。本書を読み、
建築物の歴史に想いを馳せながら、札幌の街を歩
いてみてはいかがでしょうか。

(技術広報部 石田萌子)

ファシリテーションの手引き書

大下 茂 編著
A5判 104頁 1100円
共同文化社 発行
011・251・8078

978-4-8739-416-5



コロナ禍を経て、対面コミュニケーションの重
要性が再評価される中、本書は集団での問題解決
におけるファシリテーションの意義や手法を詳し
く解説しています。著者は、「違った考えの人と
話すことは刺激的で楽しい」と述べ、参加者が義
務感ではなく、楽しんで会議に参加できる環境づ
くりの重要性を強調しています。

本書では、ファシリテーターが中立的な立場か
ら議論を進行し、相互理解を深める役割を果たす
ことが中心テーマとなっています。長年にわたり
国や東京都、地方自治体などの審議会・委員会に
参加してきた著者による、具体的な技術や手法が
分かりやすく豊富に紹介されています。

現代において、コミュニケーションスキルはさ
らに求められています。ファシリテーションの知
識を身につけることで、会議やグループワークが
より生産的で意義のあるものになることが期待さ
れ、参加者全員が「参加してよかった」と感じら
れる価値ある場を創造できることでしょう。今す
ぐ実践できる役に立つ1冊です。

(東京営業部 安井博幸)

ブック・ストーリーズ
本づくりの
さきに
あること
。

『新病院開院10周年記念【保存版】 小樽市立病院ガイドブック 80人のドクターが語る 身近な病気と対策』

【編著者】小樽市立病院
編集／病院広報著書製作委員会委員長
有村 佳昭さん



発行の目的などを語る有村病院局長



CHECK

『書籍概要』

小樽市立病院の歩みや役割を示すインタビューと、診療科・部門の紹介、地域医療を支えた新型コロナウイルス感染症への対応、災害医療に貢献するDMAT（災害派遣医療チーム）の活動のほか、院内の専門医が症状に潜む病気について解説する「よくある病気と心配事」などで構成する。A4判、160頁、オールカラー、ソフトカバー、2025年4月 共同文化社発行。価格：1,320円（税込）。ISBN：978-4-87739-421-9。

『本書お問い合わせ・ご購入先』

株式会社 共同文化社 札幌市中央区北3条東5丁目

電話 011-251-8078 FAX 011-232-8228 URL <https://www.kyodo-bunkasha.net/>
道内書店をはじめ、Amazon、共同文化社サイトなどから購入いただけます。

「誌上カンファレンス」で アドバイス

症状別に考えられる病気を複数の医師が解説するというユニークなガイドブックを作った理由は。

専門家ではない方が、症状からインターネットなどで病気の情報を探して、「きつとこれだ」と見つけ出した病名は、私たち専門家からすると「どうしてそのような病気にかかったと思うのだろう」と首をかしげたくなるような外的な希少疾患のケースがあります。一般の方が情報に振り回され、勝手に判断することは非常に危険なので、分かりやすく実用的な書籍を作ろうと考えました。腹痛、腰痛、頭痛といった痛みの

小樽市立病院は、2つの市立病院を統合・新築して、2014年12月に現病院が開院しました。2024年12月に開院10周年を迎えたことを記念して、『小樽市立病院ガイドブック 80人のドクターが語る身近な病気と対策』を発行しました。小樽市をはじめとする後志地域の医療の中核を担う同病院の専門医たちが、よくある症状に潜むさまざまな病気を解説するなど、一般的な記念誌や病院紹介冊子とは一線を画す役に立つ読み物に仕上げています。本書の企画・編集を主導した前小樽市立病院院長で小樽市病院事業管理者・病院局長の有村佳昭さんに制作意図やガイドブックに込めた思いを聞きました。

（文・写真／片山健一 取材日2025年3月11日・4月3日）

症状から考えられる病気について、当院各科の医師たちが「誌上カンファレンス」を行う形で、頻度の高い疾患と治療法などを解説しています。一つの症状について専門家が寄り集まって書いている書籍を見かけたことがないので、編集会議で提案しました。

また、身近な「かかりつけ医」を持つってもらうため、後志管内の病院やクリニックの所在地と電話番号、診療科目を地図に落とし込んだ「おたる・しりべし健康地図」を付録として作製したほか、管内の開業医向けに、地域医療支援病院である当院の専門外来や紹介していただきたい疾患などについても詳細に示しています。

コロナ禍の教訓や 災害医療の役割を伝える

— 2つのトピックスとして、新型コロナウイルスのパンデミックを振り返り、DMATの活躍を取り上げています。

コロナに関しては、2021年4月から院長に就任した私が、責任者として経験したことを書き記したいという思いがありました。例えば、市内の学校で多数の学級閉鎖があり、そこに通う子を持つ病院職員が全て欠勤すると、たちまち医療が逼迫します。そこで、子どものPCR検査を当院で行い、陰性であれば、職員が出勤できる当院独自のルールを作成し、人員を確保しました。未曾有の事態に対峙し、正解のない問

題を走りながら考え続けたことで得られた教訓をまとめました。

「小樽市立病院DMAT」については、大規模災害が頻発する中、その重要性が高まっており、実際に2018年9月の北海道胆振東部地震では大規模停電の中、小樽市内の医療活動維持のための態勢整備、2024年1月の能登半島地震では現地へ派遣され、石川県七尾市で高齢者施設入所者の健康管理などを担いました。当院は災害拠点病院でもあるため、管内に泊原発が所在することを念頭に今後は原子力災害を想定した訓練にも取り組もうと考えています。このように重要な取り組みである当院DMATの役割や活動状況を伝えようと取り上げました。

選ばれる病院であり続けるために

— これから小樽市立病院をどのように運営していきたいですか。

私は、夕張市出身で、札幌医科大学医学部に入学しました。卒業後は大学院へと進み、約20年にわたり炎症性腸疾患の再生医療の研究を続けてきました。

10年ほど前、札幌医科大学附属病院の元病院長、前麻酔科学講座教授で当時の小樽市事業管理者・病院局長並木昭義先生と札幌医科大学OBの小樽市立病院院長近藤吉宏先生が大学に訪ねてきて、臨床経験の乏しい私を小樽市立病院に誘ってくださいました。見学すると、活気があつて、真新しい病院を一目で気に入りました。

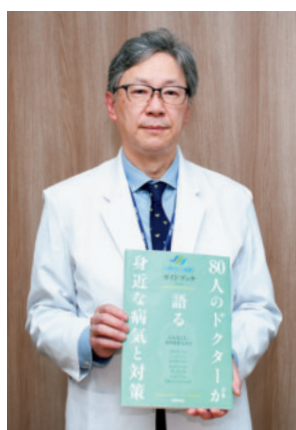
本書は、新病院開院10周年の記念事業として企画したのですが、4期16年にわたり病院局長を務められ、この春に退任された並木先生が、かねてより地域住民への還元と病院職員への教育のための本を作りたいと希望していたため、花道を飾るものにしたという思いもありました。

札幌から近く、観光地としての魅力も備えた小樽にあり、新しい設備の整った当院は、若い医療関係者にも人気が高く、特に研修医からの希望

表紙をめくると、特別付録の「おたる・しりべし健康地図」が収納された葉袋が目を惹きます。身近な医療機関が一目で分かるので、かかりつけ医を探すのに役立ちます。



倍率は札幌の病院に負けないほどです。これからは患者さんや働き手にも選ばれる病院であり続けるためには、さまざまな活動や教育体制を充実させて、魅力を高めていく必要があります。当院がどんな医療を提供しているのかを広報し、在籍する医師一人ひとりに親近感を持ってもらうことも大事だと思います。その一つのツールとして、本書が役に立てばと思っています。



2024年4月に小樽・後志地域で初の「地域医療支援病院」に承認され、12月に開院10周年を迎えたことを機に、当院がどんな病院であるかを広く伝え、また地域住民の皆さんに親しみを持ってほしいという思いから、職員の総力を挙げて本書を完成させました。

むねがいたい



誌上カンファレンスのページでは、小樽市立病院の現役専門医たちが、「よくある痛み・なやみ」に隠れているかもしれない107の病気を解説しています。「しつこい頭痛の原因はカビによる副鼻腔炎だった」、「腰と背中が痛くて湿布を貼っていたけど実は虫垂炎だった」など、リアルなエピソードを交えながら診断や治療について説明しています。

新刊情報

書名の下に数字は日本図書コード（ISBN）及び雑誌コード。特記以外は税込価格。
お近くの書店にない場合は発行先へお問い合わせください。

青い落ち葉

キム・ユギョン 著
松田 由紀・芳賀 恵 訳
四六判 272頁 2420円

シマフクロウのすべて

山本 純郎 著
B5判 508頁 5940円

北海道コンサドール札幌 オフィシャルガイドブック2025

北海道新聞社 編
コンサドール 監修
A4判 104頁 1650円

くまの子えふたんの これも、おべんどう？

北海道日本ハムファイターズ 監修
三宅 優輝 絵
林 苑芳 作
A5変型判 24頁 1870円

北海道日本ハムファイターズ オフィシャルガイドブック2025

北海道日本ハムファイターズ 編
A4判 112頁 1650円

道新プラス 北海道の病院2025

北海道新聞社 編
B5判 268頁 990円

北海道新聞社

〒004 札幌市中央区大通東4-1
011・210・5744

検文叢書7 隠逸詩人陶淵明

熊征 著
A5判 244頁 7700円

労働をめぐるシスターフッド プロレタリア文学・フェミニズム・労働研究

辻 智子・水溜 真由美 編著
A5判 240頁 4950円

日本サブカルチャーと危機 死と恐怖の表象史

押野 武志・横濱 雄二・
諸岡 卓真・高橋 啓太・
井上 貴翔 編著
四六判 264頁 3960円

スラブ・ユーフラテヤ叢書17 ロシア北極域経済の変動 サハ共和国の資源・環境・社会

田畑 伸一郎 編著
A5判 272頁 6820円

北海道大学出版会

〒000 札幌市北区北9条西8丁目
011・747・2308

25―北海道キャンプ場ガイド

978-4-906740-68-0
亜璃西社 編著
四六判 352頁 1650円

亜璃西社

〒0037 札幌市中央区南2条西5丁目
011・2221・5396

北海道人たちの満州開拓 ―大陸新農法を巡る攻防・終焉・再挑戦―

978-4-86463-054-4
高尾 英男 著
A5判 164頁 2750円

北海道協同組合通信社

〒0006 札幌市中央区北5条西14丁目
011・2209・1003

WART CARTOON

（1コマ漫画）から読み解くミヤンマーの苦しみと願い
自由と平和な表現活動を支援する
団体WART 編
A5判 72頁 1100円

高校「公共」副読本 高校生と探究したい北海道の地域課題

978-4-909261-66-1
前田 輪音 編
A5判 168頁 2310円

寿郎社

〒0007 札幌市北区北7条西2丁目
011・7008・8565

大雪山研究と開発のバイオニア 大雪山調査会

978-4-8328-2405-8
清水 敏一 著／大雪山調査会創立
100周年記念誌出版委員会 編
A5判 270頁 3960円

北海道出版企画センター

〒0018 札幌市北区北18条西6丁目2-47
011・7337・1755

ファシリテーションの手引き書

978-4-87739-416-5
大下 茂 編著
A5判 104頁 1100円

その花可憐に色青し

978-4-87739-418-9
北海道亜麻物語
齊藤 俊彦 編著
A5判 224頁 2200円

爪句@空撮日記 2024

978-4-87739-417-2
青木 曲直 著
100ミリ×74ミリ 236頁 5000円

共同文化社

〒0003 札幌市中央区北3条東5丁目
011・2511・8078

紙のば 春を待つ 表のとこ

53センチ×43センチ
木版画
JR星置駅から6、7分歩くと、住宅街の一角に星置緑地が広がります。面積は2万3千平方メートルほど。
トドマツ、ヤチダモなどの樹林の湿地に白いフンドを被ったように咲くのは水芭蕉。葉の形が芭蕉の葉に似ているのでその名がついたとのこと。
雪が解けてきた春一番に咲き、4月下旬くらいに見頃を迎えます。
こんな緑地をいつまでも大切にしたいものです。

GEM木版画会 会員 札幌市在住



※季刊アイワードのバックナンバーを
弊社ホームページよりご覧いただけます。
URL <https://iword.co.jp>